

2024 年度 ニチキッズわらび保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 13 日（月）～1 月 24 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025 年 3 月 14 日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念である【おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ】を体現する為に子ども達の気持ちに寄り添い笑顔の保育をめざし、思いを共有して明るい保育園運営に努めた。
子どもの発達援助	子どもの気持ちに寄り添い、最適な手助けが出来るよう保育士同士連携を密にして保育を進めた。また、個々の発達にあわせた確かな援助を行い、苦手な場面では自信につながるような言葉がけをした。
保護者に対する支援	HP に様々な保育シーンの写真を盛り込み、園生活をイメージしやすく且つ安心できるように努めた。送迎時には保護者に直接子ども達の様子を詳細に伝えるため会話したり、日報を掲示した。
保育を支える組織的基盤	保育の質の向上のためには何よりも連携が重要とし、会議やミーティングで話し合い、内容を共有した。より良い保育の為に信頼関係を培う努力を怠らず怪我やミスを防いだ。

総評
わらび保育園では、年間を通して子供主体の保育ができるよう取り組んできた。子供たちの意見を聞いた様子を見たりしながら、いま何を求めているのか、試行錯誤を重ね子供たちに寄り添う保育を心掛けた。そして自由な体験を通してひとりひとり伸びやかに表現でき、笑顔あふれる一年となった。運動会や発表会に向けた練習や、合同の散歩で異年齢交流を持ち、支えあい労わりあって他者への優しい気持ちを育んだ。保護者には、できる限り子どもの様子を詳細に伝え成長を共有して喜びを分かち合い、信頼関係を築けるよう配慮した。